

# 地元書店存続のために

## 小豆島町立図書館(香川県小豆島町)

テーマ

図書館と書店等が連携した経営・運営

取組概要

寄付金で購入する資料及び雑誌を地元書店から購入している。

取組詳細

小豆島町には3軒の書店があったが店主の高齢化が進み、現在は店頭で本を販売している書店は1軒のみとなった。小豆島町立図書館の蔵書は図書館流通センターを通して通常は購入している。しかし、町民等から頂いた寄付金で購入する資料は地元書店から直接購入をしている。平成19年度より年間約18万円分の資料を地元書店で購入し、町立図書館の蔵書に加えている。令和3年度に頂いた寄付金は町立図書館だけでなく、各小中学校の学校図書館充実にも活用されている。学校図書館に受入れる資料は地元書店にてカバーかけの装備を行い、学校司書の負担を減らすことができている。令和3年度より小学校4校・中学校1校に年間約50万円分の資料を地元書店で購入し、各学校に寄贈している。また、町立図書館で受け入れている雑誌のうち23誌は地元書店で購入している。  
(残りの数誌は寄贈でいただいている。)



小学校寄贈本: 人気で痛みの激しい資料を買い替え



小学校寄贈本: 児童からのリクエスト本を購入



雑誌: 購入している雑誌は全て地元書店に注文

基本データ  
(数値は令和5年現在)

住所  
香川県小豆島町安田甲  
24-1  
人口  
(図書館が所在する市町村)  
約1.2万人  
職員数(うち有資格者数)  
3人( 3人)  
蔵書数  
約8.5万冊

取組の成果と今後

現在は継続して寄付金を頂いているため、一定額の金額を地元書店で購入することができる。町内唯一の地元書店は本の販売だけでなく、文具等の販売も行っており、図書館には欠かすことのできない店舗である。地元書店存続のため、今後も資料購入の際は優先して発注することが必須であると考えられる。